

裏面白紙

宗

丙
大正十四年十月廿四日

十月二十三日

官報報告

立憲明治
大正十四年十月十四日

宗秩寮總裁

宗秩寮主事

大臣

次官

陸軍工兵大佐從五位勳四等佐々木庄藏外
七名叙位ノ件

同
大正十四年十月廿一日

九月廿一日

省
大正十四年十月廿一日



陸軍工兵大佐從五位勲四等佐々木庄藏
外七名叙位ノ件

右謹テ奏ス

明治四十四年十月十三日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望印

内

閣

陸 二六〇

明治四十四年十月十三日

内閣書記官



内閣總理大臣 印

内閣書記官長 印

陸軍工兵大佐從五位勲四等佐々木左藏
外七名ハ高等官在職十年以上ニシテ勤
勞不尠候處今般豫備後備退役茲退
職ニ付叙位進階内則第四條ニ依リ特
旨ヲ以テ位一級可被進旨上奏相成然
ルヘシ

めくれず

陸軍工兵大佐從五位勲四等

佐々木庄藏

陸軍歩兵少佐正六位

功四級塚本拾吉

公

公

公

公

坂川美太郎

退職判事

勲六等

多湖 實

陸軍歩兵少佐從六位勲四等功五級加藤市松

公

公

公

藤川 與一

公

公

公

功五級皆見彌五郎

陸軍砲兵大尉

勲六等

立野 純介

特旨ヲ以テ位一級被進

從五位勲四等佐々木庄藏

敘正五位

正六位勲四等功羅塚本拾吉

全 全 坂川美太郎

全 勲六等 多湖 實

敘從五位

從六位勲四等功五級加藤市松

全 全 藤川與一

全 全 功五級皆見彌五郎

全 勲六等全 立野 純介

敘正六位

裏面白紙

別紙陸軍工兵大佐佐々木庄藏以下二名今般豫備
被仰付候處高等官ニ任セラレ以來十年以上
在職勤勞不歎者ニ付文武官敘位進階内則
第四條ニ依リ特旨ヲ以テ各位一級進メラレ度
謹テ奏ス

明治四十四年九月二十八日

陸軍大臣男爵石本新六



陸

軍

裏面白紙

正

五

位

明治四十四年九月十六日豫備

陸軍工兵大佐從五位勲四等佐々木庄藏

從

五

位

明治四十四年九月十六日豫備

陸軍歩兵少佐正六位勲四等功四級塚本拾吉

陸軍

裏面白紙

別紙陸軍歩兵少佐加藤市松今般後備被仰付候處高等
官ニ任セラレ以來十年以上在職勤勞不尠者ニ付文武官叙位進
階内則第四條ニ依リ特旨ヲ以テ位一級進メラレ度
謹テ奏ス

明治四年九月二十八日

陸軍大臣男爵石本新六



陸軍

正

六

位

明治四十四年九月子百後備

陸軍歩兵少佐 從二位勲四等功五級 加藤市松

陸

軍

裏面白紙

130

別紙陸軍歩兵少佐坂川美太郎以下三名今般豫備
被仰付候處高等官ニ任セラレ以來十年以上
在職勤勞不尠者ニ付文武官叙位進階内則
第四條ニ依リ特旨ヲ以テ各位一級進メラレ度
謹テ奏ス

明治四十四年十月七日

陸軍大臣男爵石本新六



陸軍

裏面白紙

從	位	陸軍歩兵少佐	正六位勲四等功四級坂川美太郎
正	位	陸軍歩兵少佐	從六位勲四等藤川與一
同	同	陸軍歩兵少佐	從六位勲四等功五級皆見彌五郎

陸軍

裏面白紙

別紙陸軍砲兵大尉立野純介今般退役被仰付候
處高等官ニ任セラレ以来十年以上在職勤勞
不貳者ニ付文武官叙位進階内則第四條ニ
依リ特旨ヲ以テ位一級進メラレ度
謹テ奏ス

明治四十四年十月七日

陸軍大臣男爵石本新六



陸軍

裏面白紙

正

六

位明治四十四年九月三日退役

陸軍砲兵大尉從五位上立野純介

陸

軍

司法省 第三六九號

高等官進位之儀ニ付上奏
從五位 退職判事 栗位勲等 多湖 實
右多年 高等官 奉職 勤勞 不貳 候ニ付
文武官叙位進階内則 第四條ニ依リ 特旨
ヲ以テ 位一級被進度 謹テ 奏ス
明治四十四年十月五日
司法大臣 松田正久



司法省

裏面白紙

司法省

司法省職壹第一二六九號上奏
右執奏有之度候也

虎件

明治四拾四年十月五日

司法大臣松田正



内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

位第四六七

敘位上奏ノ件

明治四年十月七日陸軍大臣男爵石本新六
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

一陸軍中將男爵渡邊章進位ノ件

一陸軍少將石井隼太以下三名進位ノ件

一陸軍少將福田雅太郎以下十六名敘位ノ件

一陸軍歩兵中佐島村勘太郎以下十八名進位ノ件

一陸軍歩兵少佐坂川美太郎以下三名特旨進位ノ件

一陸軍砲兵大尉立野純介特旨進位ノ件

右進達候也

陸

軍